

2018年12月7日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 作本 直行

南アフリカ国メデュピ火力発電所排煙脱硫装置建設事業
(有償資金協力)
環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年11月26日(月) 14:00~16:53
- ・場所：JICA 本部 (2階 211会議室)
- ・ワーキンググループ委員：木口委員、作本委員、田辺委員、長谷川委員
(田辺委員はメール審議にて参加)
- ・議題：南アフリカ国メデュピ火力発電所排煙脱硫装置建設事業(有償資金協力)に係る環境レビュー方針についての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) Medupi FGD：
 - Final Environmental Impact Report
 - I. FEIR、II. Appendices、III. Environmental Management Programme
 - 2) Medupi Power Station：
 - Scoping Phase
 - I. Final Scoping Report、II. Appendices
 - EIR/EMP
 - I. Environmental Impact Report
 - i. FEIR
 - ii. Appendices
 - II. Environmental Management Plan
 - i. Construction Environmental Management Plan
 - ii. Operation Environmental Management Plan
 - 3) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第97回委員会)

- ・日時：2018年12月7日(金) 14:00~16:58
- ・場所：JICA 本部(1階 113会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 石膏の再利用方法について、農業用肥料へのリサイクル可能性も含めて実施機関に申し入れること。
2. マティンバ火力発電所において、SO₂ 削減のための最適な方法を検討するよう実施機関に申し入れること。

社会配慮

3. モコロ・クロコダイル用水増設プロジェクト事業 (Mokoro and Crocodile (West) Water Argumentation Project Phase2。以下、「MCWAP2」) MCWAP2 及び住民の水利用について、年間のみならず、月ごとに必要な水量を確保できる計画であることを確認すること。特に汚水処理場からの流入量が想定通り増加するかどうかを継続的に確認すること。

ステークホルダー協議・情報公開

4. MCWAP2 の EIA での住民協議における意見とそれらへの対応状況を確認すること。

以上